

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
小田原市	川東北部 (豊川・上府中・下曾我・曾我)	令和3年3月24日	令和3年3月24日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	350 ha
②アンケートに回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	272 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	161 ha
うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	54 ha
うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	36 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	12.23 ha
(備考) 圃場整備の実施に向け、地元と調整している。 梅、柑橘、キウイフルーツの生産、ブランド化を促進する。	

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none">・複合経営の経営体が多く、作業時期が重なることが多い。・水田の水利環境が良くない。・山間部は貸し手がいても、借り手がおらず、農地集約が進まない。・棚の整備が必要なキウイや収穫が安定するまで期間を要する柑橘など樹園地の場合、賃借期間の設定は10年以上必要である。・70歳以上で後継者未定の農業者の耕作面積の合計は54ha(約15%)であるが、今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積は12.23haである。
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<ul style="list-style-type: none">・田利用については、中心経営体である認定農業者11経営体が担っていくほか、農作業受託組織の強化を図り対応していく。・畑利用については、中心経営体である認定農業者10経営体、認定新規就農者2経営体が担っていく。・樹園地利用については、中心経営体である認定農業者13経営体、認定新規就農者6経営体が担っていく。
